

薪の組み方



○**薪の組み方**・・・人数や天候に応じて、井桁の形や大きさを工夫する。
資料参照

○**プログラム進行**・・・進行（エールマスター）と火の管理（ファイアキーパー）

第1部の火 ⇒ 炎を高く 神々しく

第2部の火 ⇒ 低く広くまわりを照らす

第3部の火 ⇒ 残り火で

○**留意点**

・火をもてあそばない

・ファイアサークルの周囲に薪を並べておく
⇒ 安全、ファイアキーパーの領域

・薪の追加

⇒ 火の粉がなるべく上がらないように
プログラムの進行を妨げないように

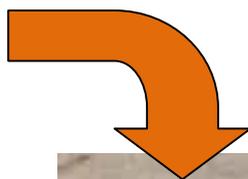
・第2部の火の加減

⇒ 炎を大きくしすぎない、安全面、資源面、炎の反対側へも声を通す

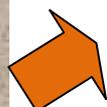
基本形



八角形



応用編
甲・外井桁①



応用編
甲・外井桁②



応用編 (中・外井桁③)



応用編 (中・外井桁④)

